

軽井沢－小諸間 乗降調査実施について

1. 調査の目的

軽井沢・小諸間の全列車の乗降調査を行うことによって、北陸新幹線延伸開業後の増便対象列車を含む同区間の利用状況を把握するため。

なお、調査時期は同区間における季節の影響の比較的小さい6月の1週間を対象とした。

2. 調査概要

(1) 調査期間

平成27年6月15日(月)～21日(日)、27日(土)

※20日(土)の夕方以降、雨による運転規制のため調査中止。これに伴う同曜日追加調査日

(2) 調査対象列車

軽井沢・小諸間の全列車(増便列車上下14本を含む上り28本、下り28本)

(3) 調査方法

ア. 各列車に乗車した調査員による駅毎の乗降者数のカウント。

イ. 小諸駅、軽井沢駅における一部の自社・他社線列車(軽井沢駅でのJR新幹線、小諸駅での当社線、JR小海線)との乗換者数をカウント。

(4) 旅客情報

主な利用者層を調査員の主観で記録。

(5) 調査期間中の運転状況

調査日	天候(軽井沢・小諸間)	運転状況
平成27年6月15日(月)	晴れのち曇り	良好(10分以上の遅れなし)
平成27年6月16日(火)	曇り一時小雨	良好(10分以上の遅れなし)
平成27年6月17日(水)	曇りのち晴れ	良好(10分以上の遅れなし)
平成27年6月18日(木)	雨のち曇り	良好(10分以上の遅れなし)
平成27年6月19日(金)	雨	良好(10分以上の遅れなし)
平成27年6月20日(土)	曇りのち雨	16時頃管内雨規制(以後調査中止)
平成27年6月21日(日)	曇り一時雨	良好(10分以上の遅れなし)
平成27年6月27日(土)	曇り	良好(10分以上の遅れなし)

※調査追加日

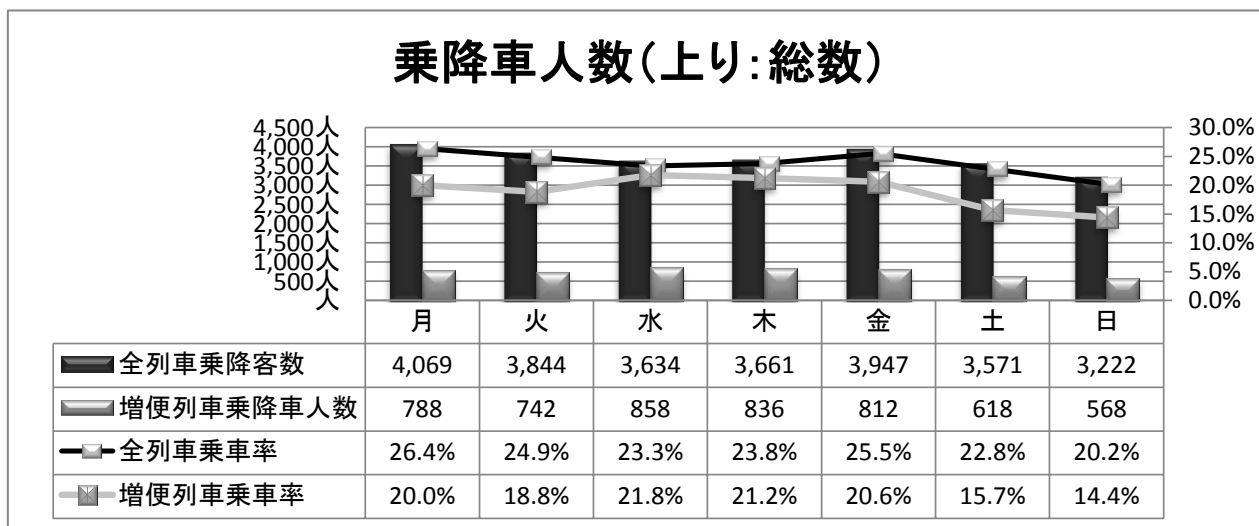
(6) 直通列車に係る特記事項

軽井沢・長野間の直通上り列車に乗車し、小諸で降車せず小諸・軽井沢間を利用する旅客は乗車人数としてカウントの対象とした。

【曜日別乗降車人数・乗車率(総数)】

乗車率=乗車数/旅客定員数 旅客定員数=座席数+立ち席(旧普通鉄道構造規則による定義)

(1) 上り列車(小諸→軽井沢) 28本(内増便列車7本)

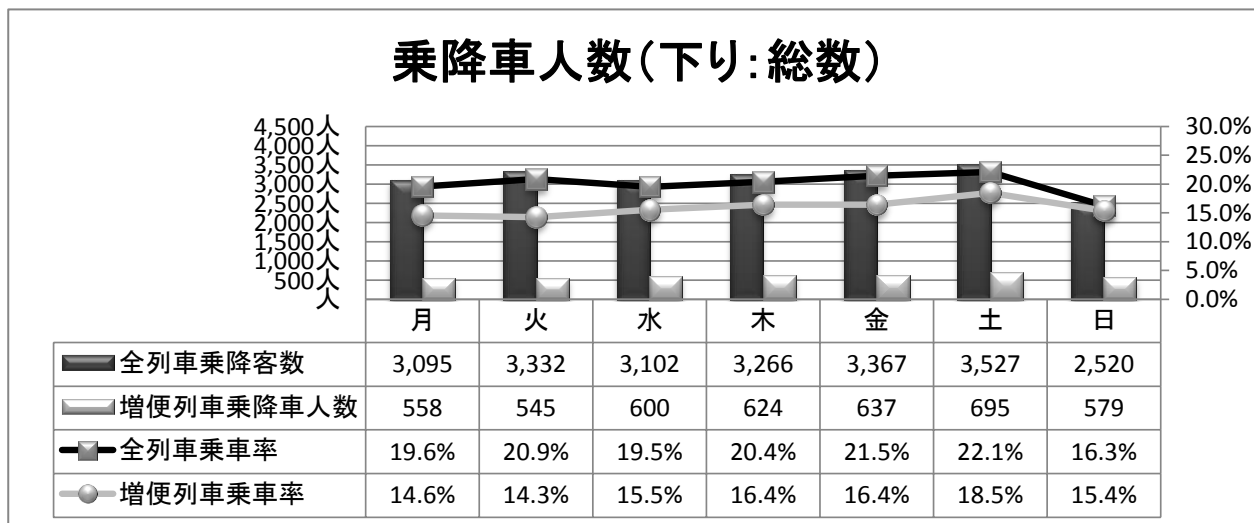


※車両情報(旅客定員数)

【全体】(5両編成(610人)×1本)+(3両編成(360人)×9本)+(2両編成(250人)×18本)=計68両(8,350人)/日

【増便】(3両編成(360人)×2本)+(2両編成(250人)×5本)=計16両(1,970人)/日

(2) 下り列車(軽井沢→小諸) 28本(内増便列車7本)

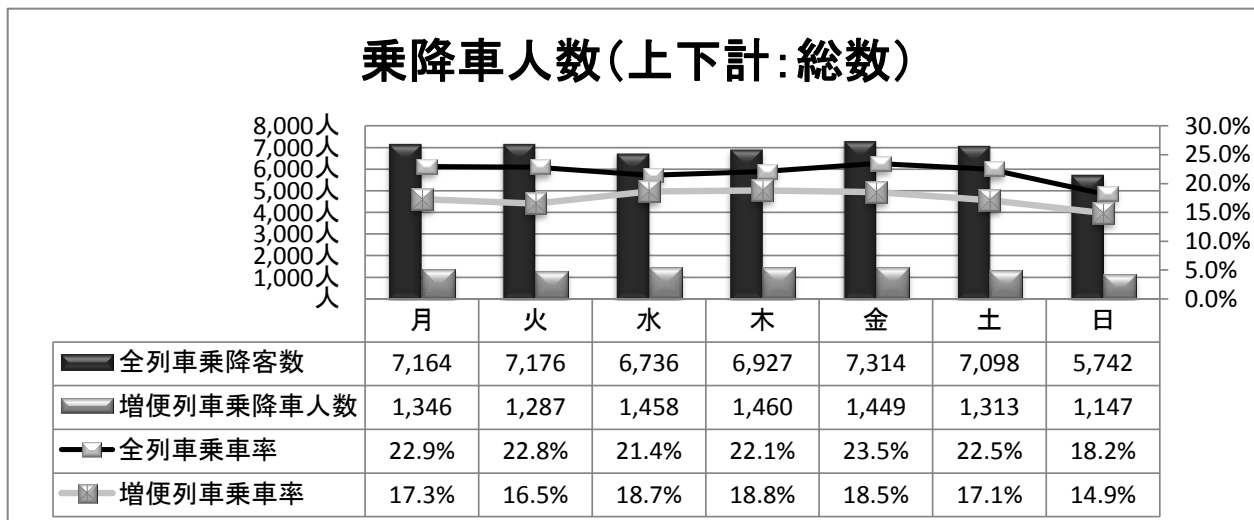


※車両情報(旅客定員数)

【全体】(5両編成(610人)×1本)+(3両編成(360人)×10本)+(2両編成(250人)×17本)=計69両(8,460人)/日

【増便】(3両編成(360人)×2本)+(2両編成(250人)×5本)=計16両(1,970人)/日

(3) 上下列車(小諸⇄軽井沢) 56本(内増便列車14本)



※車両情報(旅客定員数)

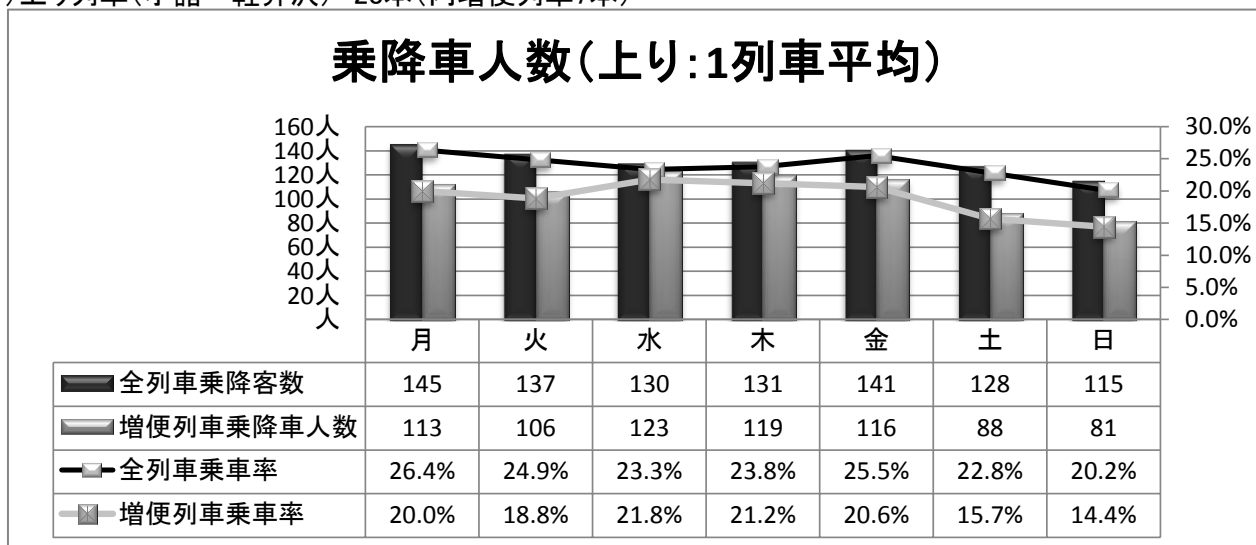
【全体】(5両編成(610人)×2本)+(3両編成(360人)×19本)+(2両編成(250人)×35本)=計137両(16,810人)/日

【増便】(3両編成(360人)×4本)+(2両編成(250人)×10本)=計32両(3,940人)/日

【曜日別乗降車人数・乗車率(1列車平均)】

乗車率=乗車数/旅客定員数 旅客定員数=座席数+立ち席(旧普通鉄道構造規則による定義)

(1) 上り列車(小諸→軽井沢) 28本(内増便列車7本)

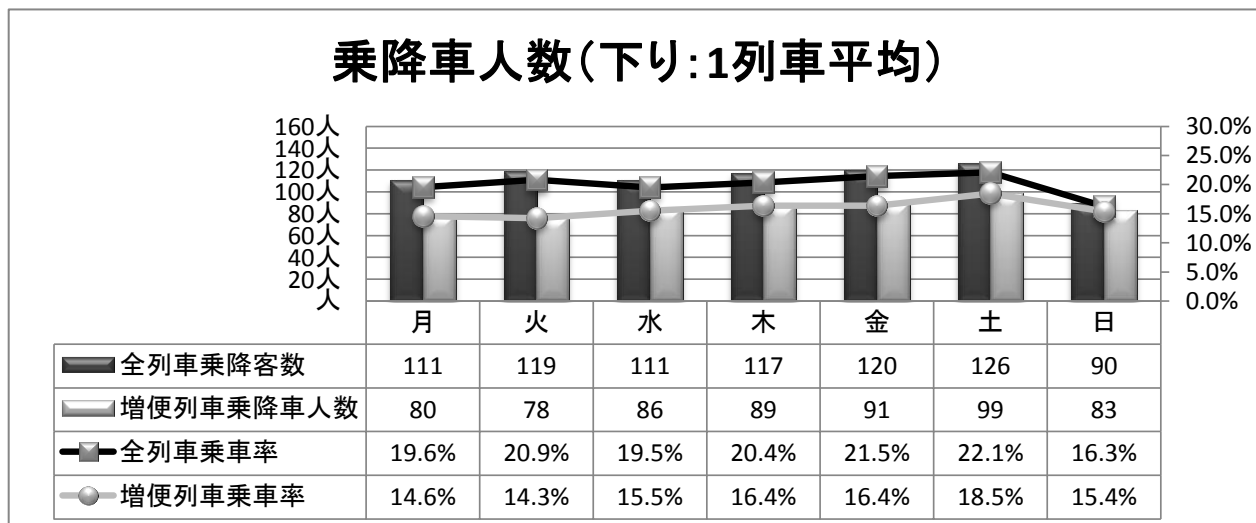


※車両情報(旅客定員数)

【全体】1列車平均298人

【増便】1列車平均281人

(2) 下り列車(軽井沢→小諸) 28本(内増便列車7本)

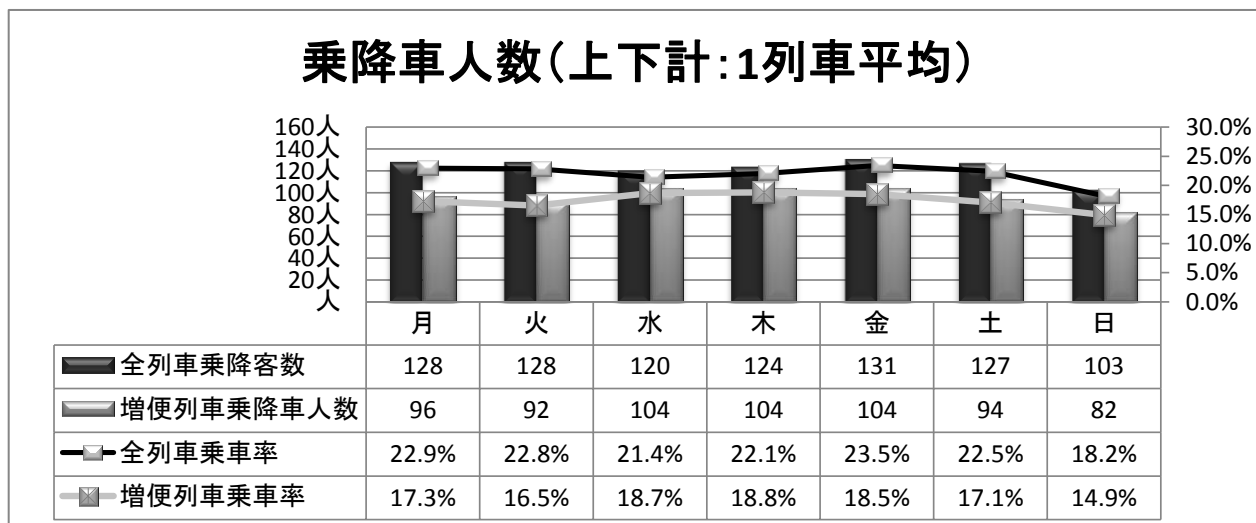


※車両情報(旅客定員数)

【全体】1列車平均302人

【増便】1列車平均281人

(3) 上下列車(小諸⇄軽井沢) 56本(内増便列車14本)



※車両情報(旅客定員数)

【全体】1列車平均300人

【増便】1列車平均281人